



iPad

環境報告書



発表日
2018年3月27日

環境への配慮

環境への負荷を軽減できるよう、iPadには以下のような特長を持たせました。

- ディスプレイのガラスにヒ素不使用
- LEDバックライトディスプレイに水銀不使用
- BFR(臭素系難燃剤)不使用
- PVC(ポリ塩化ビニル)不使用
- ベリリウム不使用
- リサイクルできる低炭素アルミニウムボディ
- スピーカーエンクロージャに再生プラスチックを60パーセント使用
- パッケージ用ファイバーの原材料に、責任ある方法で管理された森林の木材、竹、廃棄サトウキビ、または再生紙を100パーセント使用



ENERGY STAR®
要件に準拠



EPEAT Gold認定を取得³

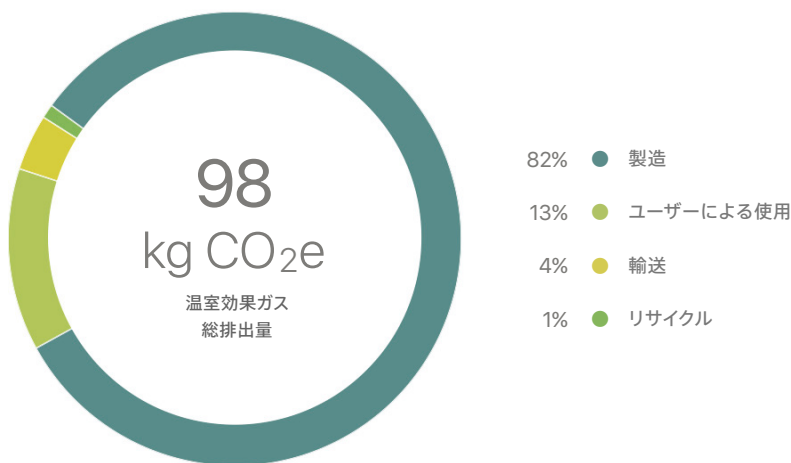
Appleと環境

Appleは、私たちの事業の環境パフォーマンス向上は製品から始まると考えています。製品ライフサイクル全体での慎重な環境管理には、製造に使用する材料の品質と種類の管理、エネルギー効率の向上、リサイクル効率を高める製品設計が含まれます。この報告書では、気候変動、エネルギー効率、材料効率、使用制限物質に関連したiPadの環境パフォーマンスについて詳しく説明します¹。

気候変動

温室効果ガスの排出は、地球の陸地、海水、大気、温度バランスに影響を与えます。Appleの温室効果ガス排出量のほとんどは、製品の製造、輸送、使用、リサイクルによって発生します。Appleは、エネルギー効率が最大限に高まるように製品を設計し、炭素排出量がより少ない材料を調達するとともに、サプライヤー施設に電力を供給するクリーンなエネルギーの購入のためにサプライヤーと連携することで、製品に関連した温室効果ガス排出量を最小限に抑える努力をしています。例えば、Appleは化石燃料の代わりに水力電気を利用して製錬されたアルミニウムを使用しており、アルミニウムのくずを再び組み入れるように製造プロセスを再設計しました。その結果、iPadのアルミニウムボディに関連した温室効果ガス排出量は、一世代前のiPadと比べて25パーセント減少しました。下のグラフは、iPadのライフサイクル全体における温室効果ガス予想排出量を示しています²。

iPad 32GB (Wi-Fiモデル)の温室効果ガス排出量





バッテリー設計

iPadでは、鉛、カドミウム、水銀を使用しないバッテリーを採用しています。さらに、リチウムイオンポリマー化学技術がバッテリーの耐用年数を延ばすため、充電レベルが本来の容量の80パーセントに下がるまでに、フル充電/放電サイクルを1,000回繰り返すことができます。

エネルギー効率

製品に関連する温室効果ガスの大部分が、ユーザーによる製品使用の段階で発生します。そのためAppleは、製品設計全般においてエネルギー効率を優先させています。iPadでは、賢い方法で消費電力を管理する、電力効率の高いコンポーネントとソフトウェアを使っています。さらにiPadは、コンピュータのENERGY STARプログラム要件の最も厳しい条件を十分に満たしています。下の表は、様々な使用モードでのiPadの電力消費量をまとめたものです。

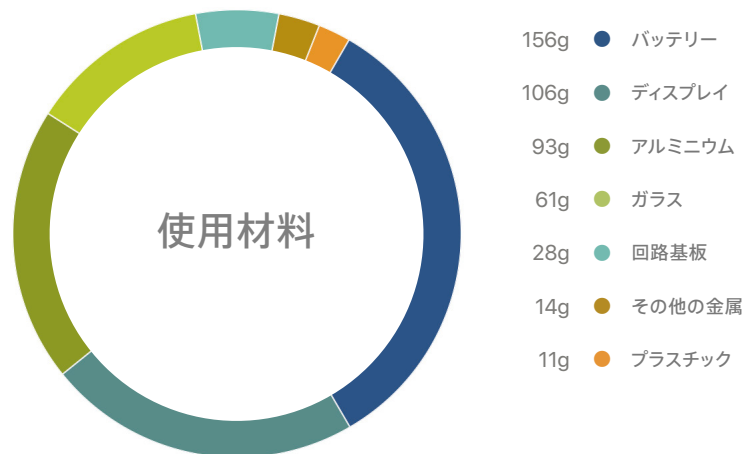
iPadの電力消費量

モード	100V	115V	230V
スリープ	0.22W	0.23W	0.22W
アイドル - ディスプレイオン	2.98W	3.35W	3.34W
電源アダプタ無負荷	0.042W	0.041W	0.044W
電源アダプタ効率	81.0%	81.4%	77.5%

材料効率

極めてコンパクトなAppleの製品設計とパッケージデザインは、材料効率で業界をリードしています。製品の材料使用量を減らすことが、輸送効率の最大化につながります。また、製造時のエネルギー消費の削減と、製品寿命が終わった時に発生する材料廃棄物の低減にも役立ちます。iPadは、アルミニウムをはじめとするリサイクル効率の高い材料でできています。下のグラフは、iPadで使われている材料の内訳を示しています⁴。

iPadの使用材料





iPadの米国小売用パッケージは、一世代前のiPadのパッケージと比べてプラスチックの含有量が90パーセント少なく、再生素材を43パーセント以上使用しています。

パッケージ

iPadのパッケージはリサイクル効率に優れており、小売用ボックスに含まれるファイバーの100パーセントが再生素材、竹、廃棄サトウキビ、または責任ある方法で管理された森林の木材を原料としています。下の表は、iPadのパッケージで使われている材料の内訳を示しています¹。

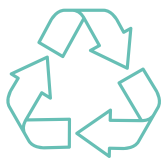
iPadのパッケージの内訳

材料	小売用ボックス	小売および出荷用ボックス
ファイバー (板紙、段ボール、非木材繊維)	186g	410g
プラスチックフィルム	7g	7g

使用制限物質

Appleは長年にわたり、自社製品とパッケージにおける有害物質の使用を率先して制限してきました。この戦略の一環として、すべてのApple製品は、厳密な「電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州指令」(RoHS指令)に準拠しています。RoHS指令で制限されている材料には、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、BFR(臭素系難燃剤)であるPBB(ポリ臭化ビフェニル)とPBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)があります。iPadは、RoHS指令の条件を満たすだけでなく、以下のさらに厳しい制限にも適合しています。

- ディスプレイのガラスにヒ素不使用
- LEDバックライトディスプレイに水銀不使用
- BFR(臭素系難燃剤) 不使用
- PVC(ポリ塩化ビニル) 不使用
- ベリリウム不使用



リサイクル

Appleは、非常に効率の良い設計とリサイクル効率の高い材料の使用により、製品寿命の終了時に発生する材料廃棄物を最小限に減らしています。さらにAppleは、自社製品を販売する国の99パーセント、そしてすべてのApple Storeで、様々な製品回収プログラムとリサイクルプログラムを実施しています。製品寿命を終えた製品のリサイクル方法について詳しくは、www.apple.com/jp/recycling をご覧ください。

定義

EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool) : IEEE 1680.1-2018で規定された環境特性をもとにコンピュータとディスプレイを評価するプログラム。詳しくは www.epeat.net をご覧ください。

温室効果ガス排出量 : 予想排出量は、ISO 14040およびISO 14044で規定されたガイドラインおよび条件に従って計算しています。この計算には、二酸化炭素換算排出量 (CO₂e) の地球温暖化係数 (GWP 100年) に影響する以下のライフサイクル段階が含まれます。

- **製造** : 原料の採取、生産、輸送と、すべての部品および製品パッケージの製造、輸送、組み立てを含みます。
- **輸送** : 完成した製品と製品パッケージを製造工場から各地域の流通センターに運ぶ航空および海上輸送を含みます。流通センターからエンドユーザーへの製品輸送は、地域の地理的条件にもとづく平均距離を使ってモデル化されています。
- **ユーザーによる使用** : Appleでは、最初の所有者による電力消費期間を3年間と短めに想定しています。製品使用のシナリオは、同様の製品におけるユーザーの過去の使用データにもとづいています。電力網の地理的な違いは地域レベルで調整しています。
- **リサイクル** : 回収センターからリサイクルセンターまでの輸送と、部品の機械的分離および破砕に使われるエネルギーを含みます。

エネルギー効率条件 : iPadのテストは、バッテリーをフル充電し、Lightning - USBケーブル (1m) をつないだ12W USB電源アダプタで給電した状態で実施しました。この報告書のエネルギー効率値は、コンピュータのENERGY STARプログラム要件にもとづいています。詳しくは www.energystar.gov をご覧ください。

- **スリープ** : 操作しない状態が2分間 (デフォルト設定) 続いた時に自動的に切り替わる低電力モード。スリープ/スリープ解除ボタンを押して切り替えることもできます。Wi-Fiに接続し、その他の設定はすべてデフォルト設定のままです。
- **アイドル - ディスプレイオン** : ディスプレイの明るさは、コンピュータのENERGY STARプログラム要件の定義にもとづいて設定し、明るさの自動調節をオフにしました。Wi-Fiに接続し、その他の設定はすべてデフォルト設定のままです。
- **電源アダプタ無負荷** : Lightning - USBケーブル (1m) をつないだ12W USB電源アダプタをAC電源のみに接続し、iPadに接続していない状態。
- **電源アダプタ効率** : Lightning - USBケーブル (1m) をつないだ12W USB電源アダプタの定格出力電流の100パーセント、75パーセント、50パーセント、25パーセントで効率をテストした場合の平均測定値。

使用制限物質 : Appleは、臭素と塩素の含有量がそれぞれ900ppm (百万分の一) 未満の素材をBFR不使用、PVC不使用と定義しています。Appleは、ベリリウム含有量が1,000ppm (百万分の一) 未満の素材をベリリウム不使用と定義しています。Appleは、欧州連合指令2011/65/EUとその改正条項 (鉛の使用の適用除外を含む) に準拠している素材を、RoHS準拠と定義しています。Appleは、技術的に可能な場合、これらの適用除外物質の使用の段階的廃止に取り組んでいます。Appleによる有害物質の使用制限の詳細については、

www.apple.com/jp/environment/reports にあるAppleの規制物質仕様書をご覧ください。

1. 製品の評価は米国仕様のiPad 32GB (Wi-Fiモデル) にもとづいています。
2. 温室効果ガス排出量はiPadの仕様によって異なります。下の表は、米国仕様のiPadのライフサイクル全体における温室効果ガス予想排出量を示しています。

仕様	温室効果ガス排出量
iPad 32GB Wi-Fiモデル / Wi-Fi + Cellularモデル	98 / 99 kg CO ₂ e
iPad 128GB Wi-Fiモデル / Wi-Fi + Cellularモデル	105 / 106 kg CO ₂ e

3. iPadは米国とカナダでEPEATのGold認定を受けました。
4. Lightning - USBケーブルとApple USB電源アダプタを除きます。質量は仕様によって異なります。

© 2019 Apple Inc. All rights reserved.